
伝わらない想い

tanaka

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

伝わらない想い

【Nコード】

N7217K

【作者名】

t a n a k a

【あらすじ】

少年の彼女に対する想いを描いた話

もう何度君にこの想いを伝えただろうか？

そして何度君に気持ちを流されただろうか？

僕は何時でも本気で君に告白していたのに、君は本気で受け取ってくれない。

僕の気持ちの伝え方が悪いのか、それとも鈍感な君が悪いのか。答えは分からない。

ねえ、どうして君は僕の気持ちに気付いてくれないの？

ねえ、どうして簡単に僕をあしらうの？

もしかして、僕が気付いていないだけで、君は物凄く迷惑をしているのかな？

もしそうなら早く言って欲しい。

僕だって君に迷惑をかけたいわげじゃない。僕はただ君の笑顔を見たいのだから。

だから本当に迷惑なら早く言って欲しい。

『迷惑だからもう止めて。あんたの事嫌いなものよ』って、そう言うて欲しい。

そうすれば僕はきっと諦める事が出来るから。

暫く落ち込んで、沢山泣くと思うけど、きっと諦める事が出来るから。

だから

「ねえ、ちゃん。僕は本当に君の事が好きなんだ。だから僕と付き合っただけで、君が僕の事が嫌いなら早く言って欲しい。そうすれば僕は諦められるから」

「……………」

「ねえ君の答えを聞かせて」

今度は軽くあしらうんじゃないかと、本当の気持ちを僕に教えて欲しい。

「君は僕の事をどう想ってるのかな？」

緊張の面持ちで彼女の答えを待つ。

「あ、あたしは」

(後書き)

どもども。今回は、敢えて中途半端な終わり方にしました。
納得できるか微妙ですが、敢えてこんな感じですよ……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7217k/>

伝わらない想い

2011年1月26日23時44分発行